

■ 令和6年度四日市スマートリージョン・コア推進協議会

## 第2回幹事会

■ 日時:令和6年12月18日(水)15:30~16:40

■ 場所:四日市商工会議所3階大会議室(オンライン併用)

■ 出席者

(有識者)

村山顕人(オンライン)、松本幸正(オンライン)、有賀隆(オンライン)、

(交通関係者)

牧野修幸(代理、オンライン)、堀圭介(代理)、矢田一真(随行)、伊藤眞郷、児玉拓也(オンライン)

(商工関係者・大規模権利者・事業展開企業)

木室康弘(オンライン)、山下二三夫、須藤康夫(代理)、切中義憲、井上貴昭(随行、オンライン)、

吉田健(オンライン)、安達勝也、山本龍太郎(随行)、森田宏(代理)、藤井晴也(随行)、

白江真二(代理、オンライン)

(行政)

毛利勇(オンライン)、岡田健(オンライン)、下村満広(随行、オンライン)、

左橋直也(随行、オンライン)、上林莉緒(随行、オンライン)、舘英次

(賛助会員)

中村出、河野正雄(随行、オンライン)、小松萌(オンライン)、福田泰之、島田真安(随行)、

(オブザーバー)

国土交通省都市局街路交通施設課係長 本田悠馬(オンライン)

国土交通省都市局都市計画課都市計画調査室都市交通係長 檜林哲也(オンライン)

国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課課長 後藤直紀(オンライン)

国土交通省中部運輸局交通政策部交通企画課専門官 田中秀和(オンライン)

国土交通省中部運輸局三重運輸支局企画調整担当 小坂和都(代理、オンライン)

### ■ 次第

#### 1. 開会

#### 2. 議題

- ・議決事項第1号 スマートシティ実装化支援事業令和6年度補正予算について
- ・議題第1号 今年度スケジュールについて
- ・議題第2号 令和6年度スマートシティ実装化支援事業の進捗報告
- ・議題第3号 ワーキンググループ(WG)の実施報告

#### 3. 閉会

## ■ 内容

### 【1.開会】

#### <進行>

本日は、ご多用中にも関わらずご出席いただき、ありがとうございます。ただ今から「四日市スマートリージョン・コア推進協議会」の令和6年度第2回幹事会を開会いたします。本日の会議を進行させていただきます、四日市市政策推進部政策推進監の櫻井です。よろしくお願いいたします。はじめに、お手元の資料をご確認ください。全部で6種類の資料と2種類の別添資料をお配りしています。過不足ありましたら、挙手にてお知らせください。

それでは、冒頭挨拶として、協議会会長である館副市長より一言お願いいたします。

#### <館副市長>

皆さんこんにちは。年末の忙しい時期でございますがお集まりいただき、またWEBでご参加いただきましてありがとうございます。本幹事会の会長を務めさせていただいております四日市市副市長の館でございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。今年度第2回目の幹事会ということでございます。本日お手元の議事次第にございますように、議決事項として令和6年度スマートシティ実装化支援事業の令和6年度補正予算というのが一点でございます。それから報告事項といたしまして、実装化支援事業として取り組んできた内容についてご報告をさせていただきます。また、12月6日に開催されました各ワーキンググループの取り組み状況についてもお知らせをさせていただきたいと思っております。データプラットフォーム・ワーキンググループにおきましては、設置されたスマート・インフラから取得したデータなどから、どのようにまちの課題解決に活用できるかということを議論させていただいております。さらにモビリティ・ワーキンググループでは、11月の6日から27日まで開催いたしました自動運転の実証実験とMaaSについてご報告をいただくということでございます。どうぞよろしくお願いいたします。今年度四日市市版MaaSのプロトタイプが構築されました。昨年度実装いたしましたポータルサイト内のデジタルマップとの連携、あるいは様々な取得データの利活用が進んでおり、それぞれの取り組みが密接に関連した中心市街地のスマート化が形になりつつあるということでございます。一方でハード面では、皆さんご存知のように中央通りの円形デッキの形が見えてまいりました。下の部分ができて、来年度から屋根や柱をつけて形がもっと見えてくるということになってまいります。それから近鉄駅西側の市民公園でございますが、今堀で囲われておりますが、こちらも来年の2月にリニューアルオープンをするということでございます。今回の実証実験ではデジタルサイネージが仮設でありましたが、この中で本設のデジタルサイネージもできてくるということでございます。このようにソフト、ハード共に、着実に事業が進んでおります。今後ウォークアブルなまちの事業につきまして、引き続き皆様方とご議論させていただきたいと思っております。ぜひ忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

#### <進行>

ありがとうございました。続きまして、本来であればご出席の委員・企業・団体の皆様のご紹介をさせていただきたいところではございますが、時間の関係もございますので、別添の出席者名簿に換えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

### 【2.議事】

#### <進行>

本日の議題は、はじめに四日市スマートリージョン・コア推進協議会に係る議決事項を予定しています。続いて、今年度のスケジュールの確認と令和6年度スマートシティ実装化支援事業の進捗報告、ワーキンググループの実施状況についてご説明させていただきます。ご質問やご意見を頂戴する時間は、議題ごとに適宜設けさせていただきます。それでは早速ですが、最初の議題を進めさせていただきます。スマートシティ実装化支援事業に係る令和6年度補正予算についての議決事項でございます。

<四日市政策推進課>  
資料1に基づいて説明

<進行>

本件に関してご質問がある方は挙手にてお願いいたします。  
よろしければ、議決事項1につきまして本協議会規約第7条第5項の規定に基づきご承認をお願いしたいと思います。ご承認頂ける方は挙手をお願いいたします。

<会場>  
挙手確認

<進行>

ありがとうございます。幹事会員総数の過半数を超えるご承認をいただきましたので、原案通りの議決とさせていただきますと存じます。議決事項については以上となりますので、続いて報告事項に移ります。ここからの進行は座長をお願いしたいと思います。村山先生どうぞよろしくお願いいたします。

<村山先生>

はい。承知いたしました。オンライン参加で失礼いたします。まず初めの議題は、令和6年度のスケジュールについての確認です。詳細のご説明は日建設計様よりお願いいたします。

<日建設計総合研究所>  
資料2に基づいて説明

<村山先生>

ご説明ありがとうございました。スケジュールについてご意見やご質問のある方は、挙手のうえご発言願いたいと思います。いかがでしょうか。無いようですので、次の議題に参りたいと思います。次の議題は、「令和6年度スマートシティ実装化支援事業の進捗」についての報告になります。詳細のご説明は日建設計様よりお願いいたします。

<日建設計総合研究所>  
資料3に基づいて説明

<村山先生>

ご説明ありがとうございます。

令和6年度スマートシティ実装化支援事業の進捗についてご意見やご質問がある方は、挙手のうえでご発言頂けますでしょうか。

何も無いようでしたら私の方から一点。

資料3のP15、事業②の四日市版MaaSの構築で、これまでの課題として利用者が少なくまた街歩き促進効果が限定的だということで、来年度は例えば店舗と連携してクーポンのインセンティブ付与ということですが、商業者の皆さんの関心というか、これまでどのように商業者の方とこのことについて議論してきたか、これに協力してくださるような雰囲気かどうかという感触を教えてくださいました。いかがでしょうか。

<日建設計総合研究所>

ありがとうございます。こちらはマクニカさんからご回答いただければと思います。

<マクニカ>

マクニカ福田です。まだ具体的に細かい議論には至っておりませんが、こちらから特定の商店街の方を含めて

こういうことをやりたいということで、もう少し協力をいただく活動が必要だと認識しております。来年度に向けて商業者の方々との連携ができるように、市役所さんにもご協力いただいで動いていきたいと考えております。

<村山先生>

ありがとうございます。こういったことは横の組織の連携が必要だと思いますので、商工会議所さんや商店街の色々な組合、或いはエリアプラットフォームもありますので、ぜひそういうところと連携して進めていただければいいかと思います。他にいかがでしょうか。

<近鉄グループホールディングス>

近鉄グループホールディングス切中です。ありがとうございます。同じくMaaSに関してです。先ほどのクーポンはインセンティブとして必要かと思いますが、こちらの原資について、補助金がある間はそこで負担するということかと思いますが、持続可能性を考えると今後実装が進めば、店舗さんで持っていていただいて広告効果を実感していただくというのが必要だと思うのですが、今の予定ではどういうイメージでしょうか。

<マクニカ>

マクニカ福田です。今ご質問いただいたシナリオと同じで、まず利用者をいかにして増やすかということだと思っています。登録される方、見られる方、実際利用される方が増えたら、商業施設の方々と連携させていただき、例えば広告を出していただく代わりに協賛金という形でいただいて、それを原資としてインセンティブを付与する形でやっていければと考えています。

<村山先生>

よろしいでしょうか。他にご意見ご質問等ございますか。無いようですので、次に進みたいと思います。

また最後の方で言い忘れたことなどありましたら、ぜひご発言お願いいたします。

それでは、議題第3号ワーキンググループ(WG)の実施報告です。

前回の幹事会以降に各ワーキングで実施された会議の内容について、ご報告していただきます。それぞれのワーキングの代表企業様からご説明いただくと思います。初めにデータプラットフォームワーキング、シー・ティー・ワイ様からお願いいたします。

<シー・ティー・ワイ>

資料4に基づいて説明

<村山先生>

どうもありがとうございます。続きまして、モビリティWGの代表であるマクニカ様からご説明をお願いいたします。

<マクニカ>

資料5に基づいて説明

<村山先生>

ご報告ありがとうございました。それでは今ご報告のありました2つのワーキンググループの実施状況について、ご意見やご質問がある方は、挙手のうえでご発言頂けますでしょうか。

<近鉄グループホールディングス>

近鉄グループホールディングス切中です。従前議論されていれば大変申し訳ないのですが、ご説明ありましたデータプラットフォーム・ワーキングとスマートシティ実装化支援事業の中の利活用空間活性化ツールの2つの役割分担、或いは連携可能性ということについて教えていただけますでしょうか。利用者が違うとか、リアルタイムデータとそれ以外とか、などについてです。

<シー・ティー・ワイ>

先ずデータ活用については、プロ目線の事業者の方々と、一般市民の方々という目線が大きく2つあるかと思っております。グラフとして人流であったり、車の量だとか、いわゆるダッシュボードという表現をしているものに関しては、統計的なデータというのは、いわゆるプロ向けのデータ活用というふうに思っています。一般市民の方々は、グラフで見たい方も中にはいらっしゃるかも知れませんが、どちらかというリアルタイムに見ていきたいというところがありますので、これはデジタルマップというところにリアルタイムでデータを可視化させていただいております。四日市市のポータルサイトの中にデジタルマップをはめ込んであり、ここに熱い寒いとか人が多いかという表現をさせていただいております。

利活用空間活性化ツールの構築とデータプラットフォーム・ワーキングの取り組みが連動するかというところですが、利活用空間活性化ツールはいろんな目線があると思いますが、まずスマート・インフラで取られるデータを見せていくのが主なところかと思っておりますので、先ほどの市民目線、プロ目線と2つあるかと思っておりますが、そういった方々に区別して見せていくこととなります。データプラットフォーム・ワーキングの中で議論させていただいているのは、どういう形でデータが使われていくのだろうかというところになりますので、どちらかというソフト的な取り組みになります。実際のデータプラットフォームという箱ものとしては出来ておりますので、それをどう使っていくのかというところを今ワーキングの中で議論するという形で分けというか若干交わっているところもありますけど、そういった形で整理をさせていただいているところです。

<近鉄グループホールディングス>

もう一点MaaSの方で、今のロードマップから拝見すると、決済機能というのは今のところ予定していないということでしょうか。

<マクニカ>

はい。ただ便利に使っていただくためには、どこかで決済機能は間違いなく実装していく必要があると考えております。どうやっていくかという点は、これからの議論になってくるのかなと思っております。

<村山先生>

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

松本先生お願いいたします。

<松本先生>

名城大学の松本でございます。福田さんご報告ありがとうございます。毎年バージョンアップされているとともに、いろんな取り組みもあって、進捗が見えていいと思っております。なかなか利用者がぐっとは増えませんが、地道には増えてきているし、やはりこういうことは続けながら少しずつ増えていき、あるところでガッと増えていくんだなと思っておりますので、目標が達成できてないからといって決して諦めることなく、更にチャレンジしてもらえばいいかなと思っております。そんな中で質問させてもらいたいのが、今回自動運転車に乗るとポイントが貯まるようにしたと言われ、難しい仕組みだなと思ったのですが、それは乗ったことを自動判定して、そしてポイントを付与するという仕組みでしょうか。

<マクニカ>

自動運転の場合は、今回は自動的にポイントが貯まるのではなく、デジタルポインラリー向けのQRコードが座席の補助席についてここを読み込むことでポイントを追加しています。

<松本先生>

なるほど、車内にQRコードを付けておけば、乗らない限りポイントは貯められないということですね。かつ、ドライバーさんが何かやる必要はなくて、利用者が自分でかざしてポイントを追加できるということですね。

<マクニカ>

はい。このような形であれば、他の公共交通のバスにも使えるのではないかと想像しています。車内で宝探し

のような形もあるかもしれません。

<松本先生>

車内に貼ればそれができますね。面白いと思います。すごく面白い取り組みで他にも色々展開できるなと思いました。

それから今回のMaaSですが、デジタルスタンプラリーの他にいろんな情報提供、駐車場の情報も見られるようになっていますが、この実証期間中しか使えないのでしょうか。いわゆるこのイベントの時に使えるもの、特にデジタルスタンプラリーなどはそうかもしれませんが、一方でそのデジタルスタンプラリーで巡る地点の情報だとか、例えば見どころなどの情報は普段から出しておくとか、三重交通さんのバス情報はいつでも見られるとか、普段使いもできるし、この実証実験の時にはプラスアルファでこんなことができるというような形でやったらと、利便性さえ認識してもらえば、利用者はじわじわ増えていくのではという気がしました。以上でございます。

<マクニカ>

駐車場の情報などは普段でも見られます。ありがとうございます。

<村山先生>

どうもありがとうございました。シー・ティー・ワイさんお願いいたします。

<シー・ティー・ワイ>

先ほどの松本先生のご質問に補足で回答させていただけますでしょうか。マクニカさんのMaaSの取り組み内容についてはデジタルマップ上で表現をさせていただいています。資料5、P7ページで実証の機能を紹介していますが、先ほど松本先生がおっしゃっていただいたように平常時が重要でございますので、①②⑥などは普段からご覧いただけるような環境になっております。こういったものが少しずつ増えていけば、より市民の方々にこのMaaSの取り組みが浸透していくかなと思います。マクニカさんとも会話しながら増やしていければと思っております。

<松本先生>

はい、ありがとうございます。非常に重要だと思いますので、ぜひもっとみなさんに普段も使えるということをご案内いただくといいと思いますし、先ほど言ったようにデジタルポイントラリーで巡ってぜひ見てもらいたいような場所があるのでしたら一緒に流しておいてもらいたいかなという気がします。それから三重交通さんは個別でMaaSアプリをお持ちだったと思いますので、相互連携というのも考えてもらってもよろしいかと思います。ぜひそのような形で四日市市に行った時には使いたいと思いますので、よろしくお願いします。

<村山先生>

ありがとうございます。他にありましたら挙手をお願いいたします。よろしいでしょうか。本日の議題は以上ですが、全体を通してご質問やご意見がありましたら、ぜひご発言願いたいと思います。

私から一点、どなたにということではないのですが、お聞きしたいことがあります。私たちは、この会議に出ている一方で中央通り再編整備のデザインについても日頃議論しているのですが、今回いろんな実験が先行整備された近鉄四日市駅西側で行われたのですが、その整備された空間がどうだったかということについても、コメントがあればお願いしたいです。例えばキックボードとか電動アシスト自転車、あるいは自動運転バスを運行した時に、ハードウェアとして何か少し改善したい点などがあればぜひ声をお聞きして、なかなか先行整備区間では直らないのかもしれませんが、これから東側にどんどん整備を進めてまいりますので、その時にぜひ同じ問題を繰り返さないように改善できればと思います。整備された自転車レーン、或いは車道との関係、公共空間のあり方についてもご意見がありましたらいただきたいと思います。いかがでしょうか。

<マクニカ>

近鉄駅西側の方では、自転車レーンを使ってキックボードを運行させていただいたんですけども、我々は

様々な次世代モビリティを実験で使っております。そこを自転車レーンと呼んでしまうと自転車だけしか通れないようなイメージがございますが、海外ではサードレーンという呼び方をしております。そうすると多様なモビリティがこれから入ってきた時に、サードレーンを使って活用できるようにしましょうといったルール作りがしやすくなるのではと思います。昨年度はゆっくり走る自動運転ベンチなどもありましたが、そういったものはサードレーンを走って市民の方が楽しめるという形で持っていけるのがいいのかなという議論をしていました。

<村山先生>

どうもありがとうございます。重要なお指摘です。自転車レーンと呼んでいますし、サインも自転車のマークが入っていると思いますが、確かにご指摘の通りキックボード乗ってる人がそこに入っていいのかなど分からないですね。

<マクニカ>

そうですね。あともう一つ、これは完全に個人的な妄想なのですが、中央通りの西からJRの一番奥のところまで直線でおそらく2kmぐらいありますか。中央分離帯の西側は川みたいな用水路みたいな形になっています。私、運動にも少し興味がありまして、真ん中のクスノキの下が整備されていければ、そこをランニングコースみたいに使って運動もできて、周りには次世代モビリティや車も走っている。そうすると、より人が集まりやすくなる環境が整うのかなということをイメージしておりました。そういう場所もあると非常に健康寿命も伸びますし、皆さん、お孫さんとお子さんと、土曜日、日曜日に中央通りに来て、運動もでき、乗り物に乗って楽しめる。実証実験を行いつつ、そういうまちづくりを妄想しておりました。以上です。

<村山先生>

どうもありがとうございました。とても貴重なご意見をいただいたと思います。JR四日市駅に近い方は、結構空間にゆとりがありますので、今ご提案していただいたことも実現できるのではないかなと思っております。また西側も、すぐにではないでしょうけれども、いずれまたリノベーションする時などにそういうことが大事になると思います。ありがとうございました。

他にいかがでしょうか。松本先生お願いいたします。

<松本先生>

デジタルインフラ台帳ですが、結構重要な取り組みだと思いますが、一般の市民の方々にとっては、なんで整備する必要のあるのかというところが見えづらいと思います。でも結構、これによって道路管理とか工事の施工管理とか、いろんなものが効率化できるということもありますので、もう少し見える化して説明いただくといいなと思いました。まだそこまで出来ているのかわからないのですが、出来たら一般の方々も分かるような、資料3のP24のARの3Dモデルのようなところをもう少し具体的に説明していただくと、一般の市民の方々にとっても「なるほど、こういうことをやる価値があるんだな」と理解いただけるなと思いましたので、ぜひ一般市民向けの情報提供ということもご検討いただければと思います。それは実際のデジタルインフラ台帳の使い方という意味ではなくて、今四日市市で取り組んでいる内容が皆さんの生活には直接関係ないかもしれませんが、何故このようなことをやっていて、それがこんな意味があるんだという説明という意味でやっていただくといいなという趣旨でございます。以上です。

<村山先生>

ありがとうございます。あと、僕は建設系の教育に携わっていますが、地下に何があるか示すのが意外と難しいので、こういうもので学習する機会にもなるし、より土木に関心を持ってもらうようにできればと思います。

<松本先生>

本当にそう思います。

<村山先生>

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。はい。日建設計の中村さんお願いいたします。

<日建設計>

今いただいたデジタルインフラ台帳のアドバイスについてコメントさせていただいてよろしいでしょうか。アドバイスをどうもありがとうございます。このデジタルインフラ台帳は守秘義務の問題もありまして、現時点では公開できる範囲が、先ずは埋設物事業者様に限られてくるのかなと思っておりませんが、今アドバイスいただきましたように、こういうものをお金を使って整備するということですので、市民の皆さんのご理解をいただくという視点は非常に重要でございます。実際にこれを導入することによって、例えば工事や水道の敷設の工事費が下がったり、事故が防げたり、合意形成が円滑になって工事の期間が短くなって、周辺を通行する皆さんにも利益があるとか、そういうところも当然出てくると思います。市民目線で、どういう効果があるかというところをアピールできるような説明の仕方というのもこれから考えていきたいと思っておりますので、アドバイスの方よろしく願います。

<松本先生>

ありがとうございます。確かに守秘義務というのがあって出せないものは確かにありますが、やはり見た目というのはすごく大事なので、出せる範囲でその辺を表現してもらえると共に、今言われた効果はすごい大事だと思いますので、そこをぜひ積極的にPRいただければと思います。期待しています。

<日建設計>

ありがとうございます。

<村山先生>

どうもありがとうございます。

すみません。予定の時間を過ぎてしまっておりますけれども、他にもしありましたらお願いいたします。

大丈夫そうですか。それでは、進行を事務局にお返ししたいと思います。議事の進行にご協力をいただきましてありがとうございました。

<進行>

村山先生、ありがとうございます。では最後にご参加いただいている先生の中で、有賀先生からも一言コメントをお願いしてよろしいでしょうか？

<有賀先生>

はい。どうもありがとうございます。後半のいろいろご意見をいただいた中で、大変参考になる意見も多くございましたので、ぜひ生かしたいと思っております。このスマートリージョン・コアで様々な意味情報、場所、或いは空間に関する意味情報、それは中央通りを含めた公共空間や市民公園も含めてですが、それから沿道側の商店街やそれ以外の市街地の空間も両方合わせてということになりますが、様々な意味情報を可視化して分かりやすく伝えていくということの最大のメリットは、情報を使う利用者側、或いは将来の利用が想定される方々が、いろんな町の空間や場所の使い方を自分たちでアイデアを持ちながら工夫できるということだと思います。これまでの情報というのは、どちらかと言うところはこういう機能です、こういう場所です、こういう用途です、業態ですという情報の出し方をしている、それはもちろんデジタルになっても、このスマートリージョン・コアにおける基盤としてあるものの、それに加えて意味情報、つまり空間、環境、それから賑わい、或いは気候、文化、歴史、或いは歩行者流動、混雑度、それらの情報が重ねられて出てくることで、私だったらこの場所、この時間帯、或いはこんな気候、こんな天気だったら、こんなふうに使いたいといった、公共空間あるいは市街地の認知も含めて使い方の幅を広げるような意味情報をたくさん重ねて出していくことは、非常に大きなメリットとしてあります。それが実は市街地の賑わいや回遊性、或いはもっと言うと市街地そのものの機能を遷移させていく、新しいフェーズに高めていくということにつながっていくだろうと思っています。そういう観点では、スマートリージョン・コアで4つの実証実験を進めて年度内に成果を出す予定で進んでおり、更に令和7年度に全体の横串を刺すというご意見もいただいておりますが、そういうスキームをぜひ実現していけるように、大変限られた時間の中でも、それぞれのワーキング或いはタスクフォースに横串を刺していくような検討を改めてどこかのタ

イミングできちんと議論できるといいなと思っております。  
以上です。ありがとうございます。

<進行>

有賀先生ありがとうございました。予定の時刻を過ぎた形になりましたが、活発なご議論をいただきましてありがとうございました。以上をもちまして、令和6年度第2回幹事会を閉会させていただきます。

第3回幹事会については、来年の3月28日の開催を予定しておりますが、詳細は改めて事務局よりご案内させていただきます。本日は忌憚のないご意見をいただき、また進行にご協力いただきありがとうございました。

以上